

「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」開催要項

1. 目的

- 1) 外来看護職が講義及び演習によって、地域における自施設の外来が果たすべき役割に基づき、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得する。
- 2) 習得した知識をもとに、外来看護職として在宅療養支援を実践することができる。

2. 開催期日 e-ラーニング 令和6年11月11日(月)～令和7年1月10日(金)
集合研修 令和7年2月8日(土) 13:30～16:00

3. 集合研修会場 佐賀県看護協会 研修センター

4. 開催方法 e-ラーニングと対面研修

5. 対象者 病院の外来、診療所に勤務している、または勤務予定のある看護職
* 常勤や非常勤等の雇用形態、勤務形態は問わない
救急外来勤務者も含む
* 令和7年1月10日までにe-ラーニングで講義を全て受講できる者
* e-ラーニング受講後、1月24日までに事前課題を提出できる者

6. 定員 30名

7. 受講料 会員：3,000円 非会員：8,000円

8. 申込期間 令和6年9月20日(金)～10月21日(月)

9. 申込方法 佐賀県看護協会ホームページより、専用申込用紙をダウンロードし、必要事項を入力し申し込む

10. 受講決定 令和6年10月31日頃までに受講可否についてメールが届きます
(その後、受講料の支払いを行ってください)

11. プログラム 別紙参照

12. 修了証 e-ラーニングを全て受講完了し、かつ演習当日の全時間受講をもって研修修了証を交付します。

【学習目標】

- (1) 講義を通じて、外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる
- (2) 所属施設の医療機能や地域の実情等から、地域で切れ目ない在宅療養支援を行う上で、自施設が担うべき役割を理解することができる
- (3) (1) 及び (2) を踏まえて、演習によって、在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につなげることができる

【プログラム】

時間	方法	内容	講師
40分	講義 1 (eラーニング)	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護師の役割	吉川久美子 (日本看護協会)
40分	講義 2 (eラーニング)	外来における在宅療養支援	永田智子 (慶応義塾大学)
40分	講義 3 (eラーニング)	在宅療養を支える地域連携とネットワーク	吉田千文 (常磐大学)
40分	講義 4 (eラーニング)	在宅療養患者（外来患者）の意思決定支援	藤井淳子 (東京女子医科大学病院)
40分	講義 5 (eラーニング)	在宅療養患者（外来患者）を支える社会資源	松本明子 (聖カタリナ病院)

【演習】（集合研修）令和7年2月8日（土）13：30～16：00 13時～受付

- 1) 事前課題：eラーニングによるすべての講義を受講後、下記の①、②について各自フォーマットのデータをホームページよりダウンロードし記載し提出する
 - ① 地域における施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
 - ② 外来における療養支援について自身が感じている課題

* 提出期限：令和7年1月24日（金） 提出方法：メールに添付して送付
送付先：jyoumu2@saga-nurse.org 常務理事 前川

2) 演習内容・方法

時間	内容	
13：30～13：40	オリエンテーション	
13：40～ 14：00	講義：佐賀県における医療・看護を取り巻く状況について	講師：佐賀県健康福祉部医務課 技術監 大久保 京子 氏
14：00～15：30	グループディカッション（事例検討）	ファシリテーター：
15：30～ 16：00	全体共有	済生会唐津病院 看護師長 牧野 幸恵 氏